第 18 回犬山祭研究会　2016/02/01　18:30～20:30

テーマ：犬山祭 HP について
座長：犬山祭保存会　石田芳弘会長
HP 制作請負者：NPO いぬやま e－コミュニティネットワーク

Ⅰ．石田会長 あいさつ
Ⅱ．NPO いぬやま e－コミュニティネットワークによる HP 案の説明
Ⅲ．意見交換

Ⅰ．石田会長 あいさつ

- 犬山祭の PR 用に HP の立ち上げを準備中である。現在は、多くの人が HP で事前情報を得てから祭りの場を訪れる。目の肥えた観客に高く評価されるような水準の HP を作りたい。本日は NPO いぬやま e－コミュニティネットワークに HP 原案を提示してもらうが、よりよい内容にするために多角的な視点でコメントしてほしい。

Ⅱ．NPO いぬやま e－コミュニティネットワークによる HP 案の説明

- HP の構成案
  - ➢ トップページ
    - ✧ スライドショー
    - ✧ メニュー
      - ● 犬山祭の歴史　＋　犬山祭最新情報（今年の祭りに関する情報）
      - ● 車山とからくり紹介
      - ● フォトギャラリー
      - ● お問合せ
      - ● 犬山祭保存会とは
        - ➢ 設立趣旨
        - ➢ 活動内容
        - ➢ 所在地
        - ➢ 会に関する情報
        - ➢ 会長あいさつ
    - ✧ 犬山祭の説明
    - ✧ お知らせ
- 補足説明
  - ➢ 「メニュー」内の「お問合せ」の項目が本当に必要かどうかは要検討。メールの返信が大変なら Tel/Fax 番号のみ掲載の方がよいかもしれない。
  - ➢ 犬山祭の説明の項目は、必要に応じて初出の語句にルビ振りが必要（「犬山祭（いぬやままつり）」「車山（やま）」など。

- ➢ トップページは文字を少なくしてボタンのみにする方法もある。インパクトや躍動感を出すには効果的な手法である。写真はどれだけでも変更可能であるため、トップページは定期的に更新していくほうがいい（年ごとのテーマを決めるなどして）。

Ⅲ．意見交換

（・ 保存会からの意見
　➢ e－コミュニティからの意見）

- 練り物の紹介を忘れずに追加すること。
- リンク集は必要（全国の他の祭りの HP とリンク）。
  - ➢ 他のウェブページにリンクを張る場合、先方からの了解は保存会で取り付けてほしい。
- 動画を追加したい。からくりと囃子の映像を提供する。
  - ➢ 動画を追加する容量は十分にあるが、視聴者は長時間の動画は見ない。3 分程度が限界である。動画を追加するのであれば「犬山祭の歴史」の項目が相応しいか。
- 祭りの楽しさが全面に出るような HP にしたい。
- 「犬山祭の担い手からひと言」というコーナーがあるとよい。
- Facebook ページとリンクさせ、多くの人に書き込みをしてもらい、生の情報を増やしてはどうか。
  - ➢ Facebook ページを管理する人が必要となる（管理権限をもつ人を 1 人設けておく）。
  - ➢ Facebook のトップページも HP 本体と調和のとれたデザインにする。
- 語句の表記は統一させる。「まつり」は「祭」（送り仮名無し）、「からくり」は「からくり」（平仮名）で統一。
- 原案のトップページはやや暗いのでもう少し明るくしてはどうか。また、両端の空白のスペースが大きすぎる。
  - ➢ どのようにでも修正可能。トップページにどのような写真を選ぶかが重要。これにより印象が決定づけられる。また写真を引き立たせる背景色（色相、明度、彩度）を選ぶことも重要。
- 祭りの開催場所へのアクセスを分かりやすく表示すること。また「えきから時刻表」とリンクさせること。
- 犬山祭のキャッチフレーズが必要。例えば「神々の饗宴」など。
  - ➢ キャッチフレーズは保存会で決めて提供してほしい。
- HP の公開時期はいつか。→今年の祭り前を目指している。
  - ➢ 遅くとも 2 月 20 日頃にはデータを揃えてほしい。
- 犬山祭は春の祭りなので、メニュー画面を春らしい色彩にしてはどうか。
- メニューに「関連施設」の項目を設け、史料館とどんでん館の紹介をする予定である。
- 協賛企業を紹介するページも必要。
- 小学生にも分かる平易な内容にするべき。
- 多言語化をどうするか。
  - ➢ 自動翻訳による外国語表記ページを設けることは簡単だが、正しく翻訳されたページを作成するためには追加費用が必要となる。
  - ➢ 文字サイズも「大」「中」「小」と設定を変更することが可能。

- 神輿の渡御の紹介も少しは必要では。
- 犬山祭のロゴを決めてはどうか。また保存会のロゴもないが。→ロゴ化するのは「犬山祭」のみとする。墨書によるものを検討。
- HP へのアクセス数を把握することは可能か。
  - 可能。但し別費用が必要。
- スマホでも閲覧可能か。
  - 可能（別ページである）。
- 色彩のコントラストが印象を決定するのではないか。
  - イメージカラーを決めることを勧める。写真との調和も重要。
- 車山運行に関する情報を掲載するページは、直前の天候などによってはアクセス数が多すぎてサーバーが処理しきれなくなる。
  - 容量は買えばよい。お金で解決できる問題である。
- Facebook の伝達能力は高い。
  - Facebook はいいことも悪いことも一瞬で広める、という認識が必要。運用上「絶対に返事をしない」と決める必要があると思われる。
- 保存会の議事録も掲載したい（毎回の配布の必要がなくなるうえ、会の活動を広報することもできる）。
- 保存会会員用の連絡掲示板を設けてはどうか。
- 犬山祭の HP なのか。犬山祭保存会の HP なのか。「犬山祭」で検索した際に上位にこの HP が出てこなければ意味がない。

★次回：第 19 回犬山祭研究会について

- 日時：2015/3/1（火）　19:00～21:00
- テーマ：未定